

未来へ

紀の川市議会だより No.48

平成31年〔2019〕2月1日発行

よいしょよ!!

- (特集)ハワイアンショップ「Kanoa」 P2
- 平成30年 第4回定例会 P4
- 委員会報告 P7
- 市政を問う(一般質問) P10
- 追跡 あの質問、どうなったの? P15

ハワイアンショップを起業

～商工会の補助金を活用～

くわぞめ
鍛初 吉伸 さん
梨紗 さん ご夫婦



子供用のスキムボードを手にするご夫婦

「ホタルに感動」

スキムボードというマリンスポーツを通して知り合った吉伸さんと梨紗さんご

夫妻。兵庫県明石市で生まれ育った梨紗さんは、興味があったスキムボードを体験するために、友人と海の近い明石ではなく、初心者には最適な和歌山の磯の浦を選びました。スキムボードはサーフィンより少し短いボードを使い、波打ち際を滑るマリンスポーツです。このスキムボードが縁で吉伸さんと出会いました。

12年前に結婚され、紀の川市貴志川町で暮らし始めた梨紗さんは、初めて見たホタルにとっても感動し、夜空を見上げればきれいな星が輝き、自然が豊かですごくいいなと思ったそうです。それから、桃が好きな梨紗さんは、「桃が有名とは知らなかったけど、いっぱい食べれるからいいな」と話します。

ア メリカと海が好きな吉伸さんの希望で新婚旅行が初めてのハワイでした。ハ

ワイはすぐには魅力を感じませんでした。5年後再び訪れたハワイでその良さを感じるようになりました。もともと雑貨が好きだったお2人はハワイの魅力を知ってもらいたいとの思いから、吉伸さんの実家にある倉庫をリフォームし、2016年7月にハワイのコーヒーも飲める雑貨屋さんをオープンしました。

ーきっかけはSNSー

お 店の名前である「Kanoa」は、ハワイの自由なイメージと、皆さんが雑貨を買って好きなように飾っていただきたいの思いを込めて、ハワイ語のkanoa（カノア＝自由）にしました。仕入れは年に1〜2回程度、梨紗さんが一人でハワイに行きます。その際も写真を送るなどラインでやり取りし、時差があるのでどうしても連絡が取れないときは自分で選んでいます。商品には二人で選ぶようです。商品は国内の問屋から仕入れている物もありますが、種類は豊富でハワイ産のコーヒーやドレッシング、アクセサリーもメイドインハワイ、お店のオリジナルトートバッグはハワイの生地で紐が真田紐です。

お客さんは、50代の方が一番多く、「インスタグラムやフェイスブックを見て来てくださる方、また、口コミも多いです。ネットショップもありですが、インスタで直接連絡をやり取りし、定期的に注文してくださる方もいます」と話す梨紗さん。



ハワイの
コーヒーを
ぜひ

市の 広報紙で情報を得て、2017年に創業セミナーを受講しました。もっと皆さんにKanoaを知っていただくため、目立つように外壁一面ハワイのイメージをあしらった看板を、ハワイの有名なウォールアートを手がけたアーティストに描いていただきました。

暖かい季節は、2階にあるお店への通路や階段に、吉伸さんが手をかける植物でいっぱいになります。「今はプルメリアというお花に力を入れていて、来年は植物の販売にも力を入れていきたい。将来は、店を拡張し、ハワイアンでいっぱいのお店にしていきたい」と目標を語って下さいました。

(中村・大谷)



第4回定例会

こんなことが決まりました。

- ・ 会期 23日間
- 11月29日～12月21日
- ・ 一般質問 8名が登壇

今回の議案は

市長提出議案

- ・ 専決処分……………2件
 - ・ 人事案件……………2件
 - ・ 条例改正・廃止……………3件
 - ・ 平成30年度補正予算……………8件
 - ・ 指定管理者の指定……………7件
 - ・ 市道路線の認定……………2件
 - ・ その他……………2件
- 計26件**

3件に注目!

※議会だよりは、主な議案を抜粋して掲載していますので、その他の議案や結果につきましては、紀の川市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

(報告第8号)専決処分の承認を求めるとして(平成30年度紀の川市一般会計補正予算(第4号))

1

台風の爪痕!

(2億1千231万6千円)

平成30年8月に発生した台風20号および9月に発生した台風21号により、被害を受けた学校施設や市道等の災害復旧などの予算です。

こんな質問が出ました

Q 今回の台風被害対策で財政支出した金額は。

A 一般財源からは、1億7千70万円となります。

Q 補正予算の2億1千231万6千円の追加と、先程の1億7千70万円を併せた、3億8千301万6千円が被害額となりますか。

A そこに、予備費から緊急に対応したのもも3千200万円あります。



台風で倒れた木

(議案第136号)工事請負契約について(粉河クリーンセンター施設解体工事)

2

落札率49%!

(1億5千76万8千円)

平成27年から紀の海広域施設を利用しているため、不要となっている施設を解体します。(契約先…ケイズ・平成建機特定建設工事共同企業体)

こんな質問が出ました

Q 落札率が49%と低いのはなぜですか。設計金額が高すぎるのではないですか。

A いろいろな見積もりを取って、それらを組み合わせた金額で設計単価を積み上げているので、正当な設計金額になっていきます。落札率が低いのは、企業努力によるものだと考えます。

Q 解体した後、土壌検査は行うのですか。

A この工事において行う予定にしていません。工事完了後、本工事請負業者が行います。



解体される粉河クリーンセンター

(議案第140号)指定管理者の指定について(紀の川市国民健康保険直営鞆淵診療所)

3

へき地診療所存続へ

市が運営している鞆淵診療所の財政状況を考え、今後は社会医療法人三車会(貴志川リハビリテーション病院などを運営)によって指定管理されることになりました。

こんな質問が出ました

Q 指定管理が三車会になることで、診療科目はどうなりますか。

A 内科・整形外科・リハビリテーションを科目に掲げる計画で、訪問リハビリテーションも加えていきたいという考えです。

Q 医療機器などの備品や、建物などの管理はどうなりますか。

A 備品などは、無償貸与が前提となっています。医療機器などの更新は、市が負担します。

施設などの改良工事・補修修繕は市の承認を得て、指定管理者が行います。なお、改修工事について市が承認した場合、市で行います。



鞆淵診療所

新副議長に

川原 一泰 氏

(隆盛クラブ)

今回副議長の栄を賜りました。議長をサポートし、精一杯頑張らせていただき、紀の川市の課題解決に向けて尽力してまいりたく思っております。



議案に対する議員の賛否一覧

案 件 名	結果	門 眞 一 郎 (共)	上 野 宗 彦 (清)	仲 谷 妙 子 (副)	船 木 孝 明 (わ)	中 尾 太 久 也 (わ)	太 田 加 寿 也 (わ)	石 脇 順 治 (隆)	並 松 八 重 (公)	中 村 ま き (共)	大 谷 さ つ き (公)	阪 中 晃 (わ)	榎 本 喜 之 (わ)	高 田 英 亮 (わ)	川 原 一 泰 (隆)	森 田 幾 久 (清)	村 垣 正 造 (清)	堂 脇 光 弘 (副)	竹 村 広 明 (清)	石 井 仁 (共)	杉 原 勲 (副)	室 谷 伊 則 (公)	坂 本 康 隆 (わ)	
報告第8号 専決処分の承認を求めることについて (平成30年度紀の川市一般会計補正予算 (第4号))	報告承認	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第9号 専決処分の承認を求めることについて (平成30年度紀の川市池田財産区特別会計補正予算 (第2号))	報告承認	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第134号 教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第135号 長田電門財産区管理委員の選任について	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第136号 工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第137号 工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第138号 紀の川市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第139号 紀の川市コミュニティ施設条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第140号 紀の川市斎場条例の廃止について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第141号 平成30年度紀の川市一般会計補正予算 (第5号) について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第142号 平成30年度紀の川市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算 (第2号) について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第143号 平成30年度紀の川市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算 (第1号) について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第144号 平成30年度紀の川市介護保険事業勘定特別会計補正予算 (第2号) について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第145号 平成30年度紀の川市公共下水道事業特別会計補正予算 (第2号) について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第146号 平成30年度紀の川市田中財産区特別会計補正予算 (第2号) について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第147号 平成30年度紀の川市水道事業会計補正予算 (第2号) について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第148号 平成30年度紀の川市工業用水道事業会計補正予算 (第2号) について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第149号 指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第150号 指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第151号 指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第152号 指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第153号 指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第154号 指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第155号 指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第156号 紀の川市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第157号 紀の川市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

【○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席】

議長は表決に加わることはできません。ただし、可否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「裁決権」が認められています。

※(わ)…わかばクラブ (清)…清流会 (公)…公明党 (副)…刷新クラブ (共)…日本共産党 (隆)…隆盛クラブ



委員会活動報告



各委員会では、議案の審査だけでなく、各委員会に付託された市民生活に深く関わることについて議会の開会・閉会にかかわらず調査研究を行っています。最近の活動状況についてお知らせします。

議会広報特別委員会視察研修受け入れ

- 10月16日兵庫県洲本市議会
- 10月30日京都府南丹市議会

他市からの視察を受け入れています

それぞれの市議会が、議会広報の編集について視察研修に来られました。

研修では、表紙写真のアングルや、記事のスペース、特集のあり方など意見交換が行われましたが、広報紙のことだけでなく、両市の行政の取り組みなども意見交換ができ、有意義な研修となりました。

その中でも、洲本市議会の方々には、全員がタブレットを持参しての研修で、どちらが研修を受けてるのかわからないほど、ペーパーレス化の話となり、本市議会も取り組むべきとして、今議会で提案をし、タブレットの導入について調査していく方向となりました。



視察レポート

議会運営委員会 11月26日

- 和歌山市議会

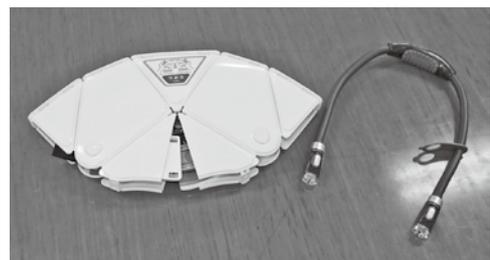
和歌山市議会が昨年6月27日に制定した「緊急時業務継続計画」いわゆるBCPについて研修を行いました。

近年、地震、台風、大雨、洪水など過去に経験したことのない大災害が起こっています。本市も台風21号で甚大な被害を受けたなか、議会として何をすべきかという意見がありました。

このようなBCPを制定することにより、緊急事態の大きな災害が発生したとき、議長は必要に応じて市長と協議し、効果的な災害復旧、復興に資するため、災害対策本部とスムーズな連携ができることとなります。

この研修をもとに、一日も早く紀の川市議会版BCPを制定できるよう検討を進めようと思います。

BCP = Business Continuity Plan



折りたたみ式ヘルメットとライト

産業建設常任委員会 10月3日～5日

●群馬県太田市 ●群馬県富岡市 ●群馬県川場村 (道の駅 川場田園プラザ)

太田市、富岡市では、汚水処理事業の整備状況と市町村設置型浄化槽事業の取り組みについて研修を行いました。

太田市は、昭和41年度から公共下水道の建設に取り組み、その他の事業としては「農業集落排水処理施設」「コミュニティプラント」「浄化槽整備事業」がありました。また「浄化槽整備事業」のうち、市が浄化槽の設置主体となり維持管理も行い、利用者は分担金と使用料を負担する「戸別浄化槽事業」は、多額の設備投資と維持管理費を要する農業集落排水処理施設の代替事業として展開していました。

一方、富岡市では公共下水道のうち流域下水道について、昭和58年度から事業を開始したものの、現在では、整備区域を810haから375haへ大幅に縮小し、代替として、市町村設置型合併処理浄化槽事業を展開していました。

両市とも下水道事業を単純に広めるのではなく、地域の特性に合った事業整備により、多くの市民に快適な生活環境を与えるという考えが感じられました。本市でも新たな整備方法も研究することが肝要であると感じました。

次に田園プラザ川場では、道の駅の整備について研修を行いました。

道の駅 川場田園プラザは、5万平方メートルもの広大な敷地に、他所にない豊かな田園風景と魅力ある地域特産品があふれていました。施設内では、産直での買い物や飲食ができる建物が複数あるため回遊することができ、さらに、子供たちが遊べる広場やゆっくり休むことができる木陰などもあり、滞在型の目的地となる空間づくりに努められていました。

利用者数は、年間約180万人、リピート率は7割もあり、当市の道の駅づくりに参考としたいところです。



厚生常任委員会 10月10日～12日

●広島県呉市、愛媛県新居浜市、香川県坂出市

呉市では、減塩食を通じた健康生活事業について研修を行いました。

6年前に開催された「減塩サミット」や、生活習慣病の主な疾患(がん・心疾患・脳血管疾患)での死亡率が全国1位となっている現状を踏まえ、健康増進計画と食育推進計画に基づき、「減塩」に着目して当事業を実施していました。市民全体に対し、なぜ減塩をしなければならないかという理由を理解してもらうために、色々なイベントや各種教室などに出向き啓発を行ってきた結果、相当浸透してきたとのことでした。

また、保育所や教育委員会も巻き込み、減塩授業を行って、その日の給食も減塩メニューに連動させるなど、子供から大人まで繋がる授業も実施していました。

次に新居浜市では、妊娠中や産後6ヶ月までの乳児を養育している家庭などへのヘルパー派遣事業について研修を行いました。転勤族が多いという土地柄のため、身近に親族がいない家庭を対象にして、この事業を始めたとのことでした。

最後に坂出市では、認知症ケアについて研修を行いました。認知症については、県下で初めて対策に取り組んできたが、これまでの危機対応・問題対応型から早期・事前対応型へシフトしているとのことでした。

今回の研修で感じたことは、どの事業も担当部局だけでなく、行政、市民、事業所などが、市民のよりよい生活のために、ひとつのチームとなって取り組んでいる様子が伺えました。



総務文教常任委員会 10月24日～26日

●山梨県笛吹市 ●山梨県北杜市 ●静岡県静岡市

笛吹市では、ふるさと納税について研修を行いました。

笛吹市は5町1村が合併し、人口約7万人、フルーツの栽培が盛んで本市と類似した市です。日本一の生産量を誇る桃、ぶどうを中心としたフルーツ、ワイン、石和温泉などのほか、ワイン造り・ぶどう狩りなどの体験、空き家の見回り、お墓の掃除など、アイデアに富んだ返礼品の商品開発も行っていました。

ただ単に物を送るだけではなく、観光体験などの魅力ある品を通じて、笛吹市に足を運んでもらい、交流人口の増加をはかり、移住定住へつなげていきたいとのことでした。

北杜市では、移住定住対策・空き家対策について研修を行いました。

平成29年度の移住者数が854人と多くの方が転入している市です。移住定住窓口を設置し、相談員は地域に精通した職員のOB8名と移住者2名で構成され、移住希望者と地域の橋渡し役となっていました。また、子育てや仕事の支援のほか、北杜市お試し住宅として市営住宅を活用し、北杜市で生活を体験できる機会を提供する事業など、さまざまな施策を行っていました。

静岡市では、静岡型小中一貫教育について研修を行いました。

小学校と中学校の「たてのつながり」と学校と地域の「よこのつながり」を強化し、学校の教育目標やその目標を実現するための取り組みなど、4つの視点を踏まえ、9年間を見通した教育を展開しています。

また、地域社会や世界で活躍する「グローバル人材」を育てるために、静岡市ならではの特色ある教育や、「英語力の向上」についても取り組み、世界で活躍する静岡人を育てていくとのことでした。



NEXT 次回 3月定例会

日	月	火	水	木	金	土
2/24	25	26	27	28	3/1	2
		本会議 (開会)		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
3	4	5	6	7	8	9
	本会議 (一般質問・ 質疑・付託) 予算決算常任委員会	予算決算 常任委員会	予算決算 常任委員会		予算決算 常任委員会	
10	11	12	13	14	15	16
	予算決算 常任委員会	予算決算 常任委員会	総務文教 常任委員会	厚生 常任委員会	産業建設 常任委員会	
17	18	19	20	21	22	23
					予算決算 常任委員会	
24	25	26	27	28	29	30
		本会議 (閉会)				

※午前9時30分開会予定です。なお、日程は変更することがあります。

議会を傍聴してみませんか

市議会の定例会は、3・6・9・12月の年4回開催され、傍聴することができます。

市議会では、市民のみなさんの生活に直結した重要な問題が審議されていますので、私たち議員の活動状況や市政の内容を知るためにも、ぜひ傍聴にきてください！



6月は日曜議会の開催を 予定しています。

電話でのお問い合わせもお受けしています。

●お問い合わせ… 議会事務局
電話番号：0736-77-0860

いっぱん質問

市政を問う

上野 宗彦 議員

- ・インバウンド(訪日外国人客)誘客の取り組みと、移動交通手段に関して

中村 まき 議員

- ・保育の現状と役割について

並松 八重 議員

- ・被災者支援システムの活用状況と発災時の初動体制について

大谷 さつき 議員

- ・不登校児童及び、いじめの実態と今後の対応・取り組みについて

門 眞一郎 議員

- ・台風21号による停電被害について

石井 仁 議員

- ・国民健康保険事業について

船木 孝明 議員

- ・本市の台風21・24号の被害対策は

仲谷 妙子 議員

- ・災害に強いまちづくりについて

背景写真：平池緑地公園

一般質問の内容については、要旨のみ掲載しています。

なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります。

くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので議会事務局議事調査課までお問い合わせください。(TEL 0736-77-0860)

訪日客への取り組みは

問

年間約10万人ものインバウンドが貴志駅を訪れている。市内を観光するには移動手段が課題だと考えるがどう解決するか。また、閑空から直接呼び込むための今後の取り組みは。

答 企画部長

地域公共交通は観光も必要な項目として検討しているが、対策は困難である。市が運行しているバス路線は、子供や高齢者が安心して乗れる地域の公共交通を目指している。観光の視点でも今後検討を継続したい。

答 農林商工部長

観光協会による閑空や他府県でのPR、ホーム



上野 宗彦 議員

ページの多言語化などを進めるとともに、貴志駅前の観光交流拠点での観光案内にも力を入れている。

紀の川市版DMOとして（一社）紀の川フルーツ観光局を設立した。「年中フルーツ体験」をコンセプトに進めていきたい。

問 貴志駅発のインバウンド専用の観光タクシーやバスを計画しては。

また、体験型観光の仕組みづくりも必要では。

観光ルートの充実を

問

貴志駅発のインバウンド専用の観光タクシーやバスを計画しては。

また、体験型観光の仕組みづくりも必要では。

答 農林商工部長

紀の川フルーツ観光局において「地域限定旅行者」の免許取得を進めており、タクシーなどを活用した名所巡りやフルーツの収穫体験ができる旅行商品の開発を進めていく。この免許取得により、閑空から貸切りバス



訪日客でにぎわう貴志駅

を利用したツアーなど多様な旅行商品の造成が可能になり、旅行予約WEBサイトと提携し、予約しやすい仕組みを構築する。2025年に開催の大阪万博は、インバウンドを取り込むチャンスと考える。

答 市長

観光拠点の繋がりがないうことが課題である。インバウンドが市内を周遊する仕組みづくりが必要であると考える。また、市内に宿泊施設が少ないことも課題であり、中規模以上のホテルの誘致にも力を入れ、観光振興に注力したい。

※インバウンド

※訪日外国人旅行者

※DMO

観光地域づくりを行う法人のこと

公立保育所の役割

問

公立保育所では、細やかな支援を必要とする子供も受け入れられてきた。公立保育所から統合された私立保育園に、受け入れ先が変わることによる子供たちや保護者への負担が懸念される。

また、どのような子育て支援が必要とされているのか。公立保育所の役割は。

答 福祉部長

公立では、私立での保育が困難な子供を積極的に受け入れている。育児不安や虐待予防などの家庭支援機能、他の児童福祉施設との連携の強化充実などの役割を認識している。

問

保育園の規模が大きくなることで、細やかな支援を必要とする子供やその保護者の負担に対する対応は。

答 福祉部長

子供にとって、保育士や環境の変化による不安が大きな影響を受けることや、障害児保育継続への不安も予想される。保護者へ事前に十分な説明と理解を求めるなど、それぞれの子供に配慮した対策を講じる。

問

低年齢児の入園希望が多い地域と、待機児童の状況は。

答 福祉部長

低年齢児の入園希望が多いのは、打田地域と貴志川地域。待機児童は8名いる。

問

現在、低年齢児保育は



私立が多くを担っている。公立で積極的に低年齢児を受け入れることで、待機児童を解消することができるのでは。

答 福祉部長

第2次保育所再編計画の対象地域となる打田・貴志川地域の子供の数は、今後も一定数見込まれ、市全体として低年齢児の受け入れが増加傾向である。公立、私立の受け入れ数を総合的に判断していきたい。障害児保育や支援を必要とする子供の入所を公立に希望する家庭も多い。打田・貴志川地域では一定規模の公立保育所を存続方向で計画を進めていきたい。



並松 八重 議員

迅速・的確な支援体制を

問

全国の地方公共団体に無償で公開提供され、重要性が認められている

「被災者支援システム」は、阪神淡路大震災において被災した西宮市職員が住民基本台帳から被災者台帳を作り、被災者の支援と復旧・復興のため開発し、構築されたものである。

全国的に自然災害が頻発する昨今、直ちに被災者を救護、支援し、迅速に的確な復旧・復興を行うためには必要なシステムである。すでに導入している本市は、現在どのように活用、運用しているのか。

答

危機管理部長

平成22年に初期のシス

テムを導入して、平成28年には、個人番号に対応できるシステムの改善など、被災者の救護や支援に対応できるようにシステムを構築し、準備はできている。しかし、現状は市のシステムを運用せず県内全域で活用され、県で一括管理されている「和歌山県防災情報システム」を活用している。

問

高齢介護課で運用されている「災害時要援護者避難支援システム」を平時から「被災者支援システム」と連携、運用しておくべきでは。

答

福祉部長

「災害時要援護者避難支援システム」は避難行動要支援者の情報などを

一元管理することで、発災から避難所までいかに迅速に対象者を避難させるか、また福祉避難所への移送が必要な方を把握するためのものであり、被災者ニーズに対応するための「被災者支援システム」を補完するものと考ええる。

問

災害時には、全職員が災害対策本部の構成員である。支援業務を即時履行できる体制はできているのか。

答

危機管理部長

職員の動員体制の確立などの課題や見直しを行い、さらに職員初動体制や支援業務の強化をはかる。



防災訓練の様子

寄り添う支援が必要



大谷 さつき 議員

問

文部科学省の学級基本調査では、不登校の小中学生は平成29年度で14万人以上となり、年々増加している。本市の不登校の児童生徒の実態と関係機関との連携は。

答

教育部長

不登校とは、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、あるいはしたくてもできない状況で、年間30日以上欠席している状況のことである。なお、病気や経済的な理由はそれに該当しない。

本市小学校の不登校の児童生徒は、平成27年度23名、28年度23名、29年度12名で減少している。

中学校は平成27年度46名、28年度41名、29年度48名で若干増加している。児童生徒の支援は、教育相談員3名とスクールソーシャルワーカー2名、臨床心理に専門的知識のあるスクールカウンセラーを12名配置し、さらに支援や対応ができる体制として教員OBの活用をはかっている。

支援策として適応指導教室の「ほほえみ教室」を2ヶ所で開設し、学校復帰、また進学などに向けて取り組んでいる。

訪問型家庭教育支援を

問

湯浅町では、文部科学省が推進している「訪問型家庭教育支援」を実施している。家庭教育支援チームを作り、支援員が不登校の児童生徒だけではなく、全戸訪問して問題の未然防止、早期発見・早期対応をしている。学校・保護者・関係機関との連携ができ、支援に

答

教育長・教育部長

近年、核家族化が進み、地域のつながりも希薄化するなど、家庭教育の環境が大きく変化している。不登校については、非常にデリケートな問題でもあり、対応には人材確保が必要である。十分検証し、慎重に研究していく。



湯浅町の取り組み



門 眞一郎 議員

停電時の対策を強化

問

台風21号による大規模停電により、市民生活に大きな不便が生じた。まったく情報が入っていない状況のもと、まず知りたいことは復旧の見通しであった。復旧の目処がわからないまま10日以上も要した地区もあった。今回の停電被害の状況を把握は。

答

危機管理部長

市内全域で最大1万7千614軒が停電、復旧まで約11日かかった。被害が広範囲であり大規模な停電であったため、正確な状況把握は困難であった。

問

関西電力との連絡体制は。

答

危機管理部長

関西電力からは可能な限り連絡を受けていたが、復旧の目処がつかない状況報告であったため、住民への情報提供と周知が困難であった。今後、関西電力との協議を行い、連絡体制の強化を検討したい。

問

住民への情報提供の必要性はどのように考えるか。

答

危機管理部長

今回は、電力の復旧見通しが定かでなかったた



倒れた電柱で道路が寸断

め、正確な情報発信ができなかったが、情報提供は必要と考えるので、今後は可能な限りの方策を検討し、実施していく。

問

緊急時の対策として、集会所や避難所に小型発電機を設置しては。

答

危機管理部長

今回の現状を踏まえて、市民が安全に避難できるよう各避難所への発電機設置を検討したい。

また、自主防災組織や消防団の資機材として発電機の設定・整備の推進に努めて、支援していきたい。

資産割はさらに縮小

問

来年度の国保税率の見通しは。

答

市民部長

県への納付金は、医療費の自然増や、一人当たり保険給付費の増加などから、増加することが予測される。

平成31年度は、本市方針の資産割廃止の2段階目で、資産割率を前年度の半分の20%とする。

その結果、減収となるため、応益割(均等割、平等割)の比率を高く設定することも考えられる。

問

保険税収入が今年度はおよそ16億円、それに対して、現時点で基金が4億4千万円ある。基金の

活用によって、資産割の縮小を進めながら、全体として負担増となる世帯をつくらぬような税率の設定ができるのでは。

答

市民部長

平成31年度でも現在の水準をそのまま維持した税率設定ができるのかは、今後、県から示される納付金を見て判断していく。

個々の事情を調査

問

本市では保険税の滞納者に対し、1年間有効の保険証を渡さず、3ヶ月で有効期限が切れる短期保険証を交付している。しかも、一部の世帯には、郵便で送付せず「窓口留め置き」が行われている。

全国的には保険証が手元にないことや窓口負担が払えないことで、受診が遅れ、亡くなる事例が報告されている。

保険証が手元にない状

況が続くのは速やかに解消すべきだと考えるが。

答

市民部長

窓口交付は、滞納者との面談機会を確保することにより、国保税納付の促進をはかり、滞納を解消することが目的で実施しており、やむを得ない措置である。

個々の事情について定期的に調査し、将来的には、短期証交付世帯の解消につなげていければと考えている。

紀の川市の税率設定（医療＋後期支援金＋介護）

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
所得割(%)	11.6	11.6	?	?
資産割(%)	66.0	40.0	20.0	0.0
被保険者均等割(円)	42,500	40,700	?	?
世帯平等割(円)	42,500	40,700	?	?

紀の川市では、平成32年度から資産割を全廃する方針。31年度も方針通り資産割を縮小する。



船木 孝明 議員

台風21号の被害対策は

問

農業被害による補助金申請の窓口を一本化できないか。

答 農林商工部長

被害補助金申請窓口は、国庫事業と市単事業は市であり、県単事業と改植事業はJAである。事業内容や実施主体も異なるので、一本化は難しいと考える。

答 農林商工部長

改植による成木までの助成はあるのか。
柑橘からの改植で10aあたり23万円、主要果実の改植で17万円の補助金が交付、また未収益期間10aあたり4年分一括で22万円交付される。

問

台風被害で市道や区道が何ヶ所通行止めになり、何日続いたのか。また、今後の市の対策は。

答 建設部長

通行止めは、倒木では86ヶ所、電柱の倒壊は8ヶ所、小屋・看板などでは10ヶ所あった。また通行止め解除に約10日を要したが、今後は一日も早く通行できるように関係機関と適切に対応していく。

問

台風で市の管理水路や一般水路に、倒木や土砂が堆積した時の市の対策は。

答 建設部長

市道に付随する水路は市が対応する。農業用水路は地元対応となっているが、二次災害の恐れがあるときは市も対応していく。

問

自治区の集会所や神社仏閣から出たゴミの対応は。

答 市民部長

自治区が管理する神社仏閣で発生した「災害ゴミ」は、集会所に準ずるとして処理手数料を免除しているが、いずれも管理者自身が搬入する場合の無料受け入れ以外に市の支援は実施していない。



仲谷 妙子 議員

問

平成23年度に策定されたハザードマップでは、安楽川地区すべてが浸水想定地域の指定になっているのはなぜか。

答 危機管理部長

本市のハザードマップの浸水想定地域は、過去の記録をもとに大雨が降った状況を踏まえて、河川が氾濫した場合と洪水実績により、国土交通省が発表した紀の川と貴志川の浸水想定区域である。

問

柘榴川の整備計画について、地滑り対策や堤防の強度検査はどのようになっているか。

答 建設部長

地滑り対策事業については、平成18年度より県の砂防事業として最上大

橋を境に上下流域延長500m区間の整備事業を進めている。

県としては堤防の強度については調査検討を行っているが、現在調査段階のため明確な判断ができない。今年度の業務が終了すれば整備計画を検討したいとのことである。

問

排水機場の整備についてはどうなっているのか。

答 農林商工部長

平成26年度から15カ年の事業工期で実施していく予定で、貴志川右岸側は、高嶋排水機場の改修と東貴志排水機場が新設されることになっている。貴志川左岸側については、県が実施する付帯工事において丸栖排水機場および中貴志排水機場が新たに設置される計画となっている。

貴志川沿いの浸水被害を軽減していくには、貴志川下流域の被害から順次実施していく必要があり、排水機場については

岩出狹窄部対策事業の計画調整が必要となるため、国土交通省との河川協議などを実施して丸栖地区および高嶋排水機場から整備できるよう進めている。

また、調月地区の宮ノ前排水機場導水路については、測量設計を実施して地元と協議中である。東貴志排水機場についても早期着手していただくように要望している。



護岸工事中の柘榴川

追跡 ちょっとおしえて! あの質問、どうなったの?!

「子どもの貧困」実態把握を

子供の貧困に対し、必要な支援を把握するためにも、独自調査を行うべきでは。

答弁

県の実態調査と、本市の「子ども・子育て支援事業計画」の見直しのためのアンケートが今後行われる。その結果を分析し、活用したい。

その後

県の調査結果を分析・活用

平成30年7月実施の「和歌山県子供の生活実態調査」（小学5年生、中学2年生の全員とその保護者が対象）のデータをもとに、分析が進められている。市のアンケート（平成30年12月実施、就学前・就学後それぞれ1000人）も実施されている。



適正な水道料金を

将来において、持続可能な水道事業とするため適正な水道料金についてどのように考えるのか。

答弁

現在の水道料金水準で財政収支見直しを検証したところ、安定した経営が困難となり、受益者の方には、一定の負担をお願いしたい。水道事業運営審議会で十分審議していただき、料金について検討していく。

その後

水道事業運営審議会 継続審議中

市長より諮問を受け、水道事業運営審議会
で審議を重ねている。審議の内容については
市ホームページで公開されている。
※議会としても、引き続き追跡調査していきます。





編集発行

紀の川市議会〒940-8540 和歌山県紀の川市西天井3番地
TEL: 093-821-0000 FAX: 093-821-0002

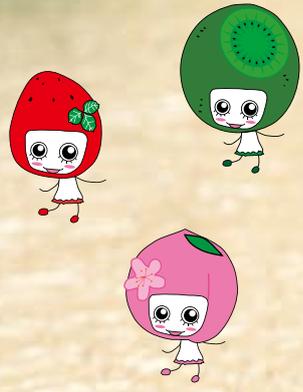
Eメール: k010200-001@city.kinokawaleg.jp



きしがわイルミネーション



元プロ野球選手による少年野球教室



初詣 (粉河産土神社)



関西シクロクロス大会 (紀の川河川敷)



新春 出初式 (市民体育館)

編集後記

お正月に風揚げをする親子連れを市内各所で見かけました。寒空の下、向かい風を受けながらも無邪気に走り回る子供たちの顔は清々しく元氣いっぱいでした。その笑顔がいつの時代も見られることを願いたく思います。

今年「平成」から新しい元号に変わる年です。新たな時代には何が待ち受けているのでしょうか。平和で輝かしい未来を感じさせる新元号になれば良いなど期待をしています。

私たちも初心を忘れず、若者や子供たちの明るい未来に向けてのまちづくりを目指し、みんなが安心して暮らせる紀の川市になるように、議会活動を進めてまいりたいと思います。

今年も市民のみなさまが読みやすい広報紙をお届けします。

本年もよろしくお願い致します。

(上野 宗彦)